

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年10月7日まで（2011年11月1日設定）	
運用方針	アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている新興成長企業株式（預託証券（DR）を含みます。）に投資を行い、信託財産の成長をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。株式等の運用にあたっては、運用の指図に関する権限を、ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インク（旧社名：アールエス・インベストメント・マネジメント・シーオー・エルエルシー）に委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の株式（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

アメリカン・ニュー・ステージ・オープン



第18期（決算日：2016年7月7日）

第19期（決算日：2016年10月7日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「アメリカン・ニュー・ステージ・オープン」は、去る10月7日に第19期の決算を行いましたので、法令に基づいて第18期～第19期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

アメリカン・ニュー・ステージ・オープンのご報告

◇最近10期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇株式売買比率	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇お知らせ	12

マザーファンドのご報告

◇アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド	13
-------------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) ラッセル2000グロース インデックス		株組入比率	株先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(配当込み、円換算ベース)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期(2014年7月7日)	11,617	0	0.5	497,653.70	4.8	89.3	—	54,974
11期(2014年10月7日)	10,914	0	△ 6.1	486,071.98	△ 2.3	95.9	—	48,660
12期(2015年1月7日)	11,130	1,500	15.7	567,034.84	16.7	94.8	—	29,777
13期(2015年4月7日)	11,254	1,300	12.8	633,432.69	11.7	96.8	—	29,091
14期(2015年7月7日)	11,225	700	6.0	657,282.97	3.8	93.4	—	28,659
15期(2015年10月7日)	10,057	0	△10.4	577,356.86	△12.2	98.2	—	24,689
16期(2016年1月7日)	9,226	0	△ 8.3	553,911.18	△ 4.1	95.8	—	20,805
17期(2016年4月7日)	8,589	0	△ 6.9	513,765.02	△ 7.2	91.9	—	18,393
18期(2016年7月7日)	8,061	0	△ 6.1	485,556.37	△ 5.5	95.9	—	15,795
19期(2016年10月7日)	8,713	0	8.1	542,727.56	11.8	96.1	—	16,796

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ラッセル2000グロースインデックス(配当込み、円換算ベース)は、ラッセル2000グロースインデックス(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル2000グロースインデックス(配当込み)は、米国株式市場全体の時価総額上位3,000銘柄で構成されるインデックスシリーズである「ラッセル米国株式インデックス」の一つです。時価総額上位1,000銘柄を除く2,000銘柄のうち、PBR(株価純資産倍率)が高く、成長が相対的に高いと予測される銘柄で構成されています。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは運用管理の対象とはなりません。また、インデックスは直接的に投資の対象となるものではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		(参考指数) ラッセル2000グロース インデックス <small>(配当込み、円換算ベース)</small>		株式 組入比率	株式 先物比率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第18期	(期首) 2016年4月7日	円 8,589	% —	513,765.02	% —	% 91.9	% —
	4月末	8,740	1.8	529,819.88	3.1	95.3	—
	5月末	8,887	3.5	533,220.57	3.8	96.4	—
	6月末	8,137	△5.3	486,619.61	△ 5.3	95.0	—
	(期末) 2016年7月7日	8,061	△6.1	485,556.37	△ 5.5	95.9	—
第19期	(期首) 2016年7月7日	8,061	—	485,556.37	—	95.9	—
	7月末	8,766	8.7	533,993.23	10.0	92.1	—
	8月末	8,785	9.0	537,349.78	10.7	95.5	—
	9月末	8,472	5.1	525,389.49	8.2	94.2	—
	(期末) 2016年10月7日	8,713	8.1	542,727.56	11.8	96.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

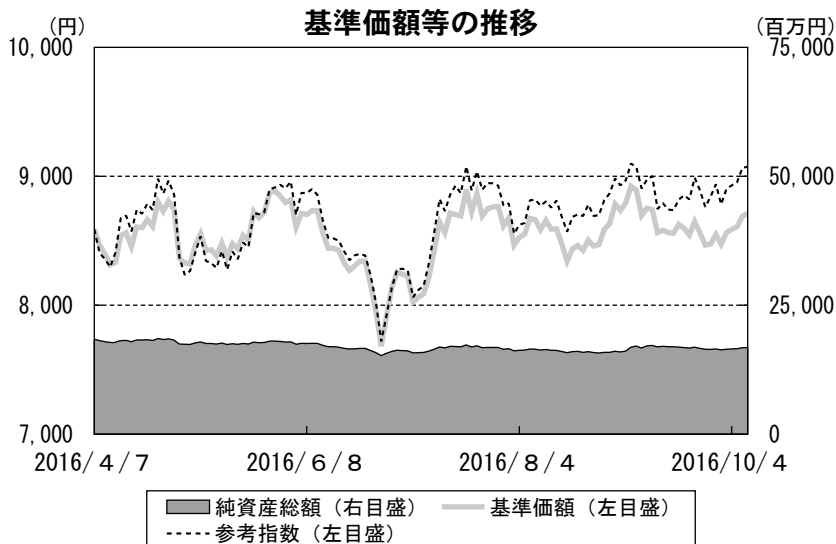
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第18期～第19期：2016/4/8～2016/10/7)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.4%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有していた新興成長企業株式が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	為替市況で米ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第18期～第19期：2016/4/8～2016/10/7)

◎米国株式市況

- ・作成期首から2016年6月半ばにかけて、米国株式市況は、原油価格の上昇や利上げ観測の後退を受け、堅調に推移しました。6月後半には、英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱派が勝利したことを背景に、大幅下落したものの、米国への影響は限定的なものにとどまるとの見方が広がり、株価は上昇に転じました。
- ・その後は米国景気に対する明るい見通しやFOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利上げの見送りが決定されたことなどに支えられ堅調に推移しました。

◎為替市況

- ・作成期首に比べ米ドルは対円で5.3%の下落となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<アメリカン・ニュー・ステージ・オープン>

- ・当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、米国において取引されている新興成長企業株式などを高位に組み入れる運用を行いました。

<アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ2.6%の上昇となりました。

- ・画期的なテクノロジーやサービスなどで売上を伸ばすことが期待でき、将来有望と考えられる米国新興成長企業の株式を中心に投資を継続しました。株式の組入比率については作成期を通じて高位を維持しました。
- ・組入銘柄数については、作成期中において銘柄入替を行い、作成期首44銘柄から作成期末46銘柄としました。銘柄入替については、ヘルスケア関連銘柄を削減する一方、イノベーションを武器に高成長が期待できるテクノロジー関連銘柄への投資を拡大しました。
- ・その結果、米ドルが対円で下落したものの、組入銘柄の株価が上昇したことから基準価額は上昇しました。パフォーマンスに影響した銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

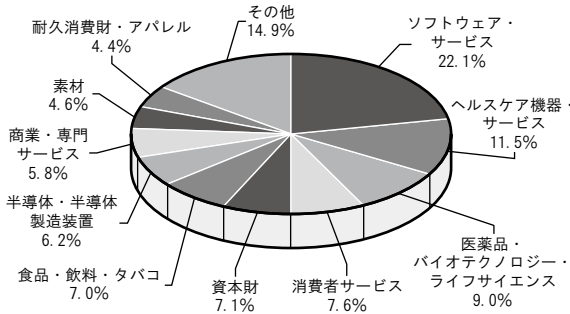
◎銘柄

- ・LOGMEIN INC（ソフトウェア・サービス）：クラウド関連事業が好調に推移していることに加え、シトリックス社の企業向けコミュニケーション事業を買収することを発表し、株価が上昇しました。
- ・PAYCOM SOFTWARE INC（ソフトウェア・サービス）：クラウド関連事業が好調に推移し市場予想を上回る決算となったことに加え、残業代などに関する新たな規制を背景に同社製品への需要が増えるとの期待が膨らみ、株価が上昇しました。

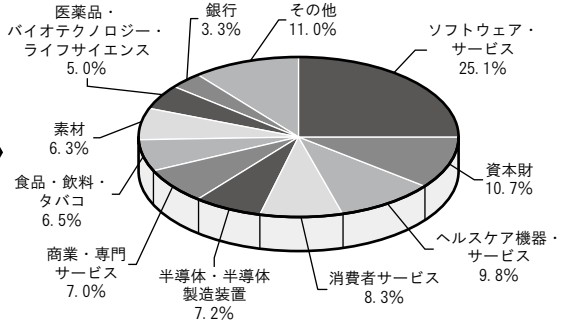
(ご参考)

組入上位10業種

作成期首 (2016年4月7日)



作成期末 (2016年10月7日)



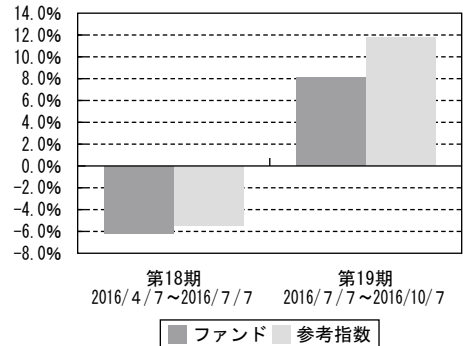
(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

(第18期～第19期：2016/4/8～2016/10/7)

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はラッセル2000グロースインデックス（配当込み、円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第18期	第19期
	2016年4月8日～2016年7月7日	2016年7月8日～2016年10月7日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2	16

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アメリカン・ニュー・ステージ・オープン>

◎今後の運用方針

- ・マザーファンドへの投資を通じて、米国において取引されている新興成長企業株式を高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざす運用を行います。

<アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・2016年末にかけて米大統領選挙や米国の利上げ観測への注目度が高まるとみられます。大統領選挙の行方は不透明であり、米国株式市況が変動するリスクがありますが、利上げについては緩やかなペースで行われ、米国景気は着実に拡大を続けることが予想されるため、米国株式市況は年末にかけて再び上昇に向かうとみています。
- ・企業業績の成長率やバリュエーションの割安感などから、前記リスクなどを考慮しても小型成長株の上値余地は大きいと考えています。

◎今後の運用方針

- ・外的要因に左右されず、独自要因で業績を着実に拡大する小型成長株式に投資を行う方針です。
- ・IT業務の外部委託化やクラウド・インフラの利用が進んでおり、このトレンドを追い風に成長する企業に注目しています。
- ・また、ヘルスケア・セクターについては、大統領選挙で民主党が政権を維持した場合は、医療制度改革が継続され、医療費削減や医療機関の経営効率化につながる革新的なサービスを提供する新興企業にとっては事業チャンスが広がるとみており投資機会を探っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年 4 月 8 日～2016年10月 7 日)

項 目	第18期～第19期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	97	1.129	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(61)	(0.706)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(33)	(0.380)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.043)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.084	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	(7)	(0.083)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.015	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	105	1.229	
作成期中の平均基準価額は、8,631円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月8日～2016年10月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第18期～第19期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド	572,888	1,302,000	1,507,714	3,285,000

○株式売買比率

(2016年4月8日～2016年10月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第18期～第19期	
	アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	20,097,933千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	16,041,891千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.25	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月8日～2016年10月7日)

利害関係人との取引状況

<アメリカン・ニュー・ステージ・オープン>

該当事項はございません。

<アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド>

区 分	第18期～第19期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	1,289	986	76.5	3,175	—	—

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年10月7日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第17期末		第19期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド		8,383,031		7,448,205		16,724,946

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年10月7日現在)

項	目	第19期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド		16,724,946	98.7
コール・ローン等、その他		220,152	1.3
投資信託財産総額		16,945,098	100.0

(注) アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（16,642,665千円）の投資信託財産総額（16,739,068千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=103.75円			
-----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項	目	第18期末	第19期末
		2016年7月7日現在	2016年10月7日現在
		円	円
(A) 資産		15,938,872,315	16,945,098,566
	コール・ローン等	173,865,168	220,152,317
	アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド(評価額)	15,765,007,147	16,724,946,249
(B) 負債		142,984,477	148,165,310
	未払解約金	45,143,649	54,553,915
	未払信託報酬	97,685,574	93,463,051
	未払利息	304	94
	その他未払費用	154,950	148,250
(C) 純資産総額(A-B)		15,795,887,838	16,796,933,256
	元本	19,594,871,056	19,277,508,554
	次期繰越損益金	△ 3,798,983,218	△ 2,480,575,298
(D) 受益権総口数		19,594,871,056口	19,277,508,554口
	1万口当たり基準価額(C/D)	8.061円	8.713円

○損益の状況

項 目	第18期	第19期
	2016年4月8日～ 2016年7月7日	2016年7月8日～ 2016年10月7日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 26,557	△ 23,156
受取利息	340	653
支払利息	△ 26,897	△ 23,809
(B) 有価証券売買損益	△ 935,389,919	1,189,607,668
売買益	41,224,619	1,329,259,592
売買損	△ 976,614,538	△ 139,651,924
(C) 信託報酬等	△ 97,840,729	△ 93,611,301
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,033,257,205	1,095,973,211
(E) 前期繰越損益金	△4,893,257,452	△5,080,504,163
(F) 追加信託差損益金	2,127,531,439	1,503,955,654
(配当等相当額)	(948,198)	(1,572,534)
(売買損益相当額)	(2,126,583,241)	(1,502,383,120)
(G) 計(D+E+F)	△3,798,983,218	△2,480,575,298
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△3,798,983,218	△2,480,575,298
追加信託差損益金	2,127,531,439	1,503,955,654
(配当等相当額)	(1,137,858)	(2,941,619)
(売買損益相当額)	(2,126,393,581)	(1,501,014,035)
分配準備積立金	3,569,386	28,520,473
繰越損益金	△5,930,084,043	△4,013,051,425

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 21,415,387,916円

 作成期中追加設定元本額 3,078,373,419円

 作成期中一部解約元本額 5,216,252,781円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8713円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,480,575,298円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年4月8日～ 2016年7月7日	2016年7月8日～ 2016年10月7日
費用控除後の配当等収益額	－円	25,429,606円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	1,137,858円	2,941,619円
分配準備積立金額	3,569,386円	3,090,867円
当ファンドの分配対象収益額	4,707,244円	31,462,092円
1万口当たり収益分配対象額	2円	16円
1万口当たり分配金額	－円	－円
収益分配金金額	－円	－円

④「アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の90の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド

《第5期》決算日2016年10月7日

[計算期間：2015年10月8日～2016年10月7日]

「アメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンド」は、10月7日に第5期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として米国において取引されている新興成長企業株式(預託証券(DR)を含みます。)に投資を行い、信託財産の成長をめざします。投資にあたっては、ボトムアップアプローチにより投資銘柄を厳選します。株式等の運用にあたっては、運用の指図に関する権限を、ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インク(旧社名:アールエス・インベストメント・マネジメント・シーオー・エルエルシー)に委託します。株式等の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式(預託証券(DR)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) ラッセル2000グロース インデックス (配当込み、円換算ベース)		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
(設定日) 2011年11月1日	円	%		%	%	%	百万円
	10,000	—	225,403.70	—	—	—	4,517
1期(2012年10月9日)	12,359	23.6	254,701.60	13.0	92.0	—	730
2期(2013年10月7日)	19,761	59.9	425,289.42	67.0	95.7	—	5,648
3期(2014年10月7日)	20,033	1.4	486,071.98	14.3	96.2	—	48,474
4期(2015年10月7日)	25,373	26.7	577,356.86	18.8	98.7	—	24,570
5期(2016年10月7日)	22,455	△11.5	542,727.56	△6.0	96.5	—	16,724

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ラッセル2000グロースインデックス(配当込み、円換算ベース)は、ラッセル2000グロースインデックス(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル2000グロースインデックス(配当込み)は、米国株式市場全体の時価総額上位3,000銘柄で構成されるインデックスシリーズである「ラッセル米国株式インデックス」の一つです。時価総額上位1,000銘柄を除く2,000銘柄のうち、PBR(株価純資産倍率)が高く、成長が相対的に高いと予測される銘柄で構成されています。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは運用管理の対象とはなりません。また、インデックスは直接的に投資の対象となるものではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) ラッセル2000グロース インデックス (配当込み、円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2015年10月7日	円 25,373	% —	577,356.86	% —	% 98.7	% —
10月末	26,618	4.9	598,242.46	3.6	95.9	—
11月末	27,138	7.0	634,083.18	9.8	95.6	—
12月末	25,712	1.3	601,906.98	4.3	95.6	—
2016年1月末	22,174	△12.6	510,046.86	△11.7	96.4	—
2月末	21,245	△16.3	494,144.51	△14.4	95.1	—
3月末	22,199	△12.5	521,756.85	△9.6	95.7	—
4月末	22,296	△12.1	529,819.88	△8.2	95.8	—
5月末	22,714	△10.5	533,220.57	△7.6	96.8	—
6月末	20,832	△17.9	486,619.61	△15.7	95.5	—
7月末	22,485	△11.4	533,993.23	△7.5	92.5	—
8月末	22,582	△11.0	537,349.78	△6.9	96.0	—
9月末	21,823	△14.0	525,389.49	△9.0	94.7	—
(期 末) 2016年10月7日	22,455	△11.5	542,727.56	△6.0	96.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

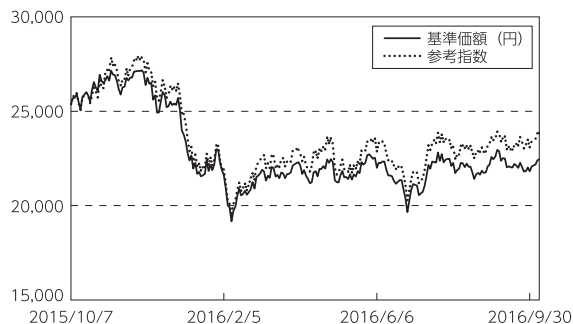
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.5%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

保有していた新興成長企業株式が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

為替市況で米ドルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

● 投資環境について

◎ 米国株式市況

- ・ 期首から2016年2月中旬までは、原油価格の下落に加え、中東や朝鮮半島における地政学的リスクが高まったことや中国株式市場での売買規制をめぐる混乱を受け、リスク回避の動きが強まったことなどから下落しました。3月には、原油価格の反発に加え、3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利上げの見送りが決定され、年内の利上げペースが緩やかになるとの見方が強まったことなどから上昇に転じました。
- ・ 4月から6月半ばにかけては、原油価格の上昇や利上げ観測の後退を受け、堅調に推移しました。6月後半には、英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱派が勝利し、大幅下落したものの、米国への影響は限定的なものにとどまるとの見方が広がり、株価は上昇に転じました。その後は米国景気に対する明るい見通しやFOMCで追加利上げの再見送りが決定されたことなどに支えられ堅調に推移しました。

◎ 為替市況

- ・ 期首に比べ米ドルは対円で13.8%の下落となりました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ 画期的なテクノロジーやサービスなどで売上を伸ばすことが期待でき、将来有望と考えられる米国新興成長企業の株式を中心に投資を継続しました。株式の組入比率については期を通じて高位を維持しました。

- ・ 組入銘柄数については、期中において銘柄入替を行い期首31銘柄から期末46銘柄としました。銘柄入替については、新規公開企業を含めた米国株式市場の平均時価総額の増加に対応するため、投資対象の時価総額基準を30億米ドル以下からラッセル2000グロースインデックスの構成銘柄の最大時価総額を超えない水準に変更したことを受けて、銘柄数を増やしポートフォリオを再構築しました。金融サービス関連銘柄を削減する一方、イノベーションを武器に高成長が期待できるテクノロジー関連銘柄への投資を拡大しました。その結果、組入銘柄の株価は上昇しましたが、米ドルが対円で下落したことなどから基準価額は下落しました。パフォーマンスに影響した銘柄は以下の通りです。

(マイナス要因)

- ・ RESTORATION HARDWARE HOLDING（小売）：住宅市場の回復が続く中、シェア拡大を見込んで保有したものの、市場予想を下回る2015年11－2016年1月期決算を発表したことなどから株価は下落。2016年3月に全株売却。
- ・ PRA GROUP INC（各種金融）：シェア拡大を見込んで保有していたものの、市場予想を下回る2015年7－9月期決算を発表したことなどから株価は下落。2015年11月に全株売却。

○ 今後の運用方針

◎ 運用環境の見通し

- ・ 2016年末にかけて米大統領選挙や米国の利上げ観測への注目度が高まるとみられます。大統領選挙の行方は不透明であり、米国株式市況が変動するリスクがありますが、利上げについては緩やかなペースで行われ、米国景気は着実に拡大を続けることが予想されるため、米国株式市況は年末にかけて再び上昇に向かうとみています。
- ・ 企業業績の成長率やバリュエーションの割安感などから、前記リスクなどを考慮しても小型成長株の上値余地は大きいと考えています。

◎今後の運用方針

- ・ 外的要因に左右されず、独自要因で業績を着実に拡大する小型成長株式に投資を行う方針です。
- ・ IT業務の外部委託化やクラウド・インフラの利用が進んでおり、このトレンドを追い風に成長する企業に注目しています。
- ・ また、ヘルスケア・セクターについては、大統領選挙で民主党が政権を維持した場合は、医療制度改革が継続され、医療費削減や医療機関の経営効率化につながる革新的なサービスを提供する新興企業にとっては事業チャンスが広がるとみており投資機会を探っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年10月8日～2016年10月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 56 (56) (1)	% 0.243 (0.240) (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.004 (0.004) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.028 (0.028) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	63	0.275	
期中の平均基準価額は、23,151円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2015年10月8日～2016年10月7日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 66,038	千アメリカドル 264,573	百株 85,861	千アメリカドル 311,816

(注) 金額は受渡代金。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	CUBESMART	98	3,000	62	1,744

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2015年10月8日～2016年10月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	66,021,392千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,329,200千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.60

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月8日～2016年10月7日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 1,289	百万円 986	% 76.5	百万円 6,519	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年10月7日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期 末			業 種 等
		株数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
EAGLE MATERIALS INC	—	338	2,709	281,133	素材
ADVISORY BOARD CO/THE	—	270	1,163	120,699	商業・専門サービス
PRA GROUP INC	2,029	—	—	—	各種金融
LIGAND PHARMACEUTICALS	1,745	529	5,218	541,386	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALIGN TECHNOLOGY INC	—	293	2,623	272,239	ヘルスケア機器・サービス
PRIVATEBANCORP INC	1,688	—	—	—	銀行
SVB FINANCIAL GROUP	24	—	—	—	銀行
LITTELFUSE INC	—	336	4,328	449,105	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HEADWATERS INC	4,112	—	—	—	素材
MARKETAXESS HOLDINGS INC	166	80	1,292	134,113	各種金融
EURONET WORLDWIDE INC	1,343	860	7,182	745,176	ソフトウェア・サービス
POPEYES LOUISIANA KITCHEN IN	1,277	285	1,469	152,426	消費者サービス
CARRIZO OIL & GAS INC	1,485	—	—	—	エネルギー
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	69	263	5,441	564,605	ソフトウェア・サービス
INTEGRA LIFESCIENCES HOLDING	—	422	3,462	359,269	ヘルスケア機器・サービス
HEARTLAND PAYMENT SYSTEMS IN	842	—	—	—	ソフトウェア・サービス
WEBMD HEALTH CORP	—	406	2,054	213,150	ソフトウェア・サービス
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	1,391	698	5,607	581,726	半導体・半導体製造装置
MUELLER WATER PRODUCTS INC-A	—	2,231	2,748	285,179	資本財
CAVIUM INC	—	768	4,435	460,181	半導体・半導体製造装置
LENDINGTREE INC	—	290	2,661	276,181	銀行
SNYDERS-LANCE INC	—	1,637	5,573	578,244	食品・飲料・タバコ
JACK IN THE BOX INC	—	268	2,520	261,520	消費者サービス
PAPA JOHN'S INTL INC	1,265	—	—	—	消費者サービス
LOGMEIN INC	2,133	886	8,287	859,873	ソフトウェア・サービス
HEXCEL CORP	450	1,264	5,665	587,810	資本財
G-III APPAREL GROUP LTD	312	—	—	—	耐久消費財・アパレル
DEXCOM INC	—	288	2,395	248,518	ヘルスケア機器・サービス
MIDDLEBY CORP	—	133	1,613	167,426	資本財
HEICO CORP-CLASS A	1,197	1,108	6,663	691,347	資本財
INTERXION HOLDING NV	—	205	762	79,074	ソフトウェア・サービス
IMAX CORP	3,408	1,289	3,770	391,198	メディア
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	166	—	—	—	資本財
MACOM TECHNOLOGY SOLUTIONS H	2,866	—	—	—	半導体・半導体製造装置
WISDOMTREE INVESTMENTS INC	2,971	—	—	—	各種金融
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	1,255	295	2,210	229,318	ヘルスケア機器・サービス
EXAMWORKS GROUP INC	2,714	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
RESTORATION HARDWARE HOLDING	573	—	—	—	小売
LA QUINTA HOLDINGS INC	2,753	—	—	—	消費者サービス
DIAMONDBACK ENERGY INC	—	156	1,482	153,822	エネルギー
KNOLL INC	4,832	1,267	2,810	291,572	商業・専門サービス
RITCHIE BROS AUCTIONEERS	4,907	1,604	5,708	592,252	商業・専門サービス
BARRACUDA NETWORKS INC	1,340	—	—	—	ソフトウェア・サービス
REPLIGEN CORP	1,197	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PAYCOM SOFTWARE INC	1,100	1,180	5,889	611,038	ソフトウェア・サービス
FLEETMATICS GROUP PLC	768	—	—	—	ソフトウェア・サービス

銘柄	株数	株数	当期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
TRANSUNION	—	359	1,211	125,714	商業・専門サービス	
GODADDY INC - CLASS A	—	1,619	5,683	589,713	ソフトウェア・サービス	
STERIS PLC	—	370	2,667	276,777	ヘルスケア機器・サービス	
SIX FLAGS ENTERTAINMENT CORP	—	547	2,899	300,818	消費者サービス	
PINNACLE FOODS INC	—	934	4,642	481,633	食品・飲料・タバコ	
BLACK KNIGHT FINANCIAL-CL A	—	998	3,961	411,011	ソフトウェア・サービス	
GRAPHIC PACKAGING HOLDING CO	—	3,357	4,629	480,301	素材	
DAVE & BUSTER'S ENTERTAINMEN	—	798	3,141	325,961	消費者サービス	
VISTEON CORP	—	461	3,240	336,246	自動車・自動車部品	
VAIL RESORTS INC	—	191	2,979	309,120	消費者サービス	
GCP APPLIED TECHNOLOGIES	—	923	2,489	258,324	素材	
HEALTHQUITY INC	—	535	2,030	210,708	ヘルスケア機器・サービス	
WESTERN ALLIANCE BANCORP	—	621	2,430	252,135	銀行	
FIVE BELOW	—	535	2,141	222,231	小売	
INPHI CORP	—	262	1,175	121,977	半導体・半導体製造装置	
EAGLE PHARMACEUTICALS INC	—	393	2,534	262,983	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
合計	株数・金額	52,394	32,571	155,616	16,145,253	
	銘柄数<比率>	31	45	—	<96.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄	口数	口数	当期末		比率
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%
CUBESMART	—	36	943	97,864	0.6
合計	口数・金額	36	943	97,864	
	銘柄数<比率>	1	—	<0.6%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2016年10月7日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	16,145,253	96.5
投資証券	97,864	0.6
コール・ローン等、その他	495,951	2.9
投資信託財産総額	16,739,068	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(16,642,665千円)の投資信託財産総額(16,739,068千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=103.75円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年10月7日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	16,739,068,024	
コール・ローン等	408,586,497	
株式(評価額)	16,145,253,783	
投資証券(評価額)	97,864,992	
未収入金	80,067,581	
未収配当金	7,295,171	
(B) 負債	14,302,197	
未払金	14,302,162	
未払利息	35	
(C) 純資産総額(A-B)	16,724,765,827	
元本	7,448,205,856	
次期繰越損益金	9,276,559,971	
(D) 受益権総口数	7,448,205,856口	
1万口当たり基準価額(C/D)	22,455円	

<注記事項>

- ①期首元本額 9,683,880,058円
 期中追加設定元本額 572,888,452円
 期中一部解約元本額 2,808,562,654円
 また、1口当たり純資産額は、期末2,2455円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 アメリカン・ニュー・ステージ・オープン 7,448,205,856円

[お知らせ]

運用の指図に関する権限の委託先が買収されたことに伴い従来の「アールエス・インベストメント・マネジメント・シーオー・エルエルシー」から「ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インク」へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2016年8月25日)

○損益の状況 (2015年10月8日～2016年10月7日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	111,042,283	
受取配当金	110,483,613	
受取利息	594,041	
支払利息	△ 35,371	
(B) 有価証券売買損益	△ 2,788,858,490	
売買益	3,605,642,772	
売買損	△ 6,394,501,262	
(C) 保管費用等	△ 5,282,334	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,683,098,541	
(E) 前期繰越損益金	14,886,984,310	
(F) 追加信託差損益金	729,111,548	
(G) 解約差損益金	△ 3,656,437,346	
(H) 計(D+E+F+G)	9,276,559,971	
次期繰越損益金(H)	9,276,559,971	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。